

分析試験結果報告書

株式会社ワールド・リンク 様



一般財団法人

九州環境管理協会

〒813-0004 福岡市東区松香台1-10-1

TEL:092-662-0410 FAX:092-662-0990

採 取 事 項			
試料名	ろ過後		
受付日	2020年3月16日	試料番号	19B6595
採取日	—	採取者	—
環境状況	—		
備 考	試料採取に関する事項は依頼者の申し出のとおり記載		

貴依頼による分析結果は下記のとおりです (全 1 頁)

分 析 結 果				
分析項目	単位	結果	定量下限値	分析方法
硫化物イオン	mg/L	0.3	0.1	JIS K 0102 39.2 よう素滴定法
pH(測定時水温℃)	-	7.1 (20)	-	JIS K 0102 12.1 ガラス電極法
砒素	mg/L	0.005未満	0.005	JIS K 0102 61.4 ICP質量分析法
鉛	mg/L	0.005未満	0.005	JIS K 0102 54.4 ICP質量分析法
六価クロム	mg/L	0.02未満	0.02	JIS K 0102 65.2.5 ICP質量分析法
- 以下余白 -				
備 考				

株式会社ワールドリンク殿

一般財団法人九州環境管理協会

試料番号 19B6595 の実験内容について

御社から提出された実験計画書に記された実験手順を基に、実験操作を行った。詳細な実験操作は、以下のとおりである。

- (1) クロム標準液 (1000mg/L) を 0.75mL, 鉛標準液 (1000mg/L) を 0.15mL およびヒ素標準液 (100mg/L) 1.5mL を 1000mL のメスフラスコに入れ、水道水で 1000mL に定容したものを模擬排水とした。
- (2) 模擬排水の全量を 1000mL のビーカーに移し入れ、多硫化カルシウム 0.1g とポリシリカ鉄 0.1g を同時に添加し、あらかじめビーカーに入れた回転子とマグネットスターラーを用いて、3 分間攪拌した (図 1)。
- (3) (2) の操作後の模擬排水にポリシリカ鉄 0.15g を添加し、3 分間攪拌後、5 分間静置した。
- (4) (3) の操作後の模擬排水に高分子凝集剤 0.1g を添加し、3 分間攪拌後、5 分間静置した (図 2)。
- (5) (4) の模擬排水の一部 (300mL 程度) を 5C ろ紙で自然ろ過したものを硫化物イオンおよび pH 用の検液とし、さらに模擬排水の一部 (500mL 程度) を 0.45 μ m メンブランフィルターで吸引ろ過したものを六価クロム、鉛、ヒ素用の検液とした。

以上

実験状況写真

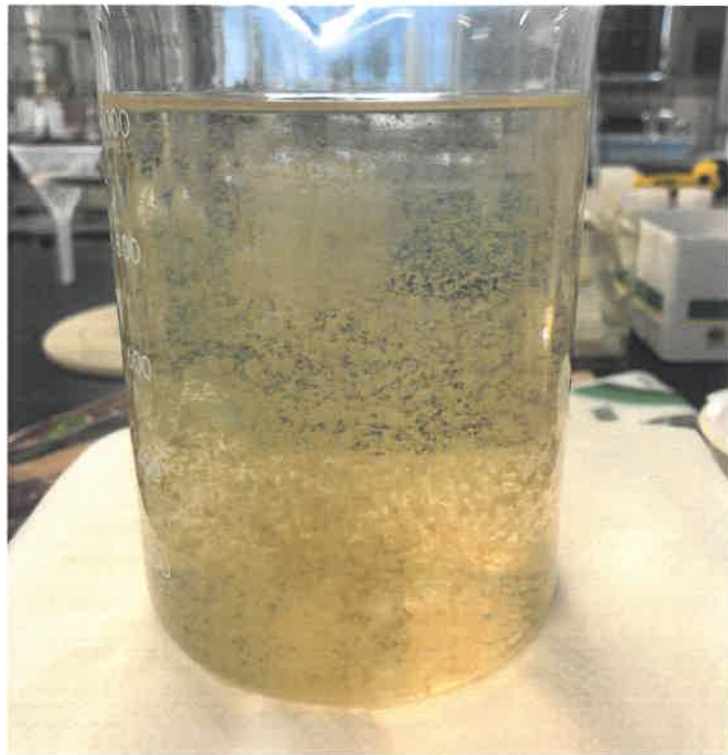


図 1 多硫化カルシウム 0.1g およびポリシリカ鉄 0.1g 添加攪拌状況

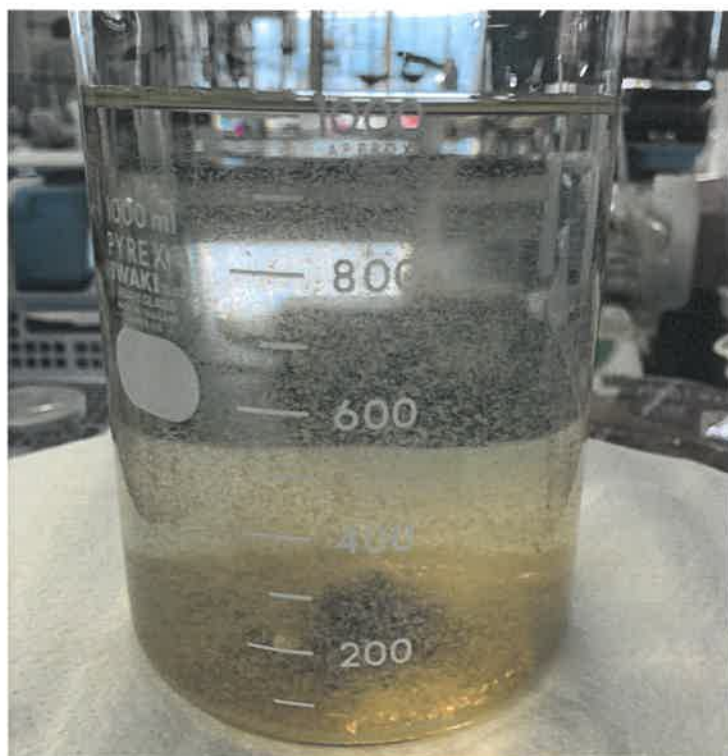


図 2 高分子凝集剤 0.1g 添加攪拌後